ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

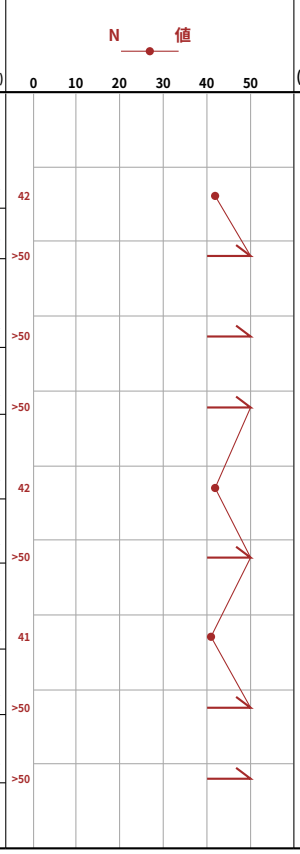
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.2	調査位置				北　緯	36 ° 40 ' 21.0000 "
発 注 機 関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2008-03-03 ～ 2008-03-05	東　経	139 ° 42 ' 32.0000 "
調査業者名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	267.99 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0.00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	9.25 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	267.39	0.60	0.60		盛土 (BS)	褐			φ100～200mmの玉石混入するシルト質砂		
1 2 3	264.19	3.20	3.80		玉石混り砂礫 (GS-B)	暗灰	密な		硬い　含水量多い～中位 -0.60～-1.00mで掘削長、約5～8cmの玉石混入 -1.00～-2.00mでコア長3～6cm -2.00～-3.00mで玉石コア5～7cm混入　推定φ100～200mm玉石 上部-2.00mまで崩壊激しい -2.50m前後で逸水 -3.15mで褐色に変化 玉石3.00～3.80m掘削長、最大5cm 漏水及び崩壊あり 亜角・亜円礫主体に混在 基質部は粗砂で自立性に若干欠ける		03/05 3.60
4 5 6 7	260.49	3.70	7.50		玉石混り粘土質砂礫 (GS-BC)	暗褐灰	非常に密な		硬い　含水量多い 礫径10～30mmが多い 亜円・亜角礫混在 3.80m～5.00mでコア長最大18cmの推定φ200～400mm玉石混入 5.00～6.00mコア長4cm含む 6.00mで細砂を薄層に挟む 7mでマサ状の砂を挟む基質部分は粗砂及び粘土質の粗砂		
8 9	258.74	1.75	9.25		粘土混り砂礫 (GS-C)	褐灰			硬く締まっている 含水量中～多い 礫径φ10～30mmの玉石少量混入 7.50～8.00mで掘削長6cm 8.00数ら.00mで5cm混入 基質部、粘土質の粗砂、少量の風化礫混入あり		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.25	18	10	14	42／30	42
1.55	50／8			50／8	>50
2.15					
2.23			14／7	50／27	>50
3.15	16	20			
3.42		34／7		50／17	>50
4.15	16				
4.32					
5.15	15	15	12	42／30	42
5.45					
6.15	35	15／5		50／15	>50
6.30					
7.15	14	15	12	41／30	41
7.45					
8.15	18	32／8		50／18	>50
8.33					
9.15	50			50／10	>50
9.25					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						03/03
						03/04
						03/05